



第1次デジタル技術総合計画

Digital Transformation General Plan Vol.1

● デジタル技術総合計画の概要

執行部活動をより一層持続可能なものにするために、フィジカル（現実）空間の効率化（サステナビリティ・アセスメント）にとどまらず、サイバー（仮想）空間も最大限活用していくことを目的に定める。

● 第1次デジタル技術総合計画（Phase 1）

機器・環境の整備

◇1、MacBook Pro（2020 Intel Core i5 10th Generation）の導入

最もパワフルで、ポータブルな MacBook Pro（当時）

生徒会執行部が常に使用できる専用のパソコンであり、今後のデジタル化に向けたホストコンピューターとしての役割を果たす。

◇2、Google Workspace For Education（旧 G Suite）の活用

Google Drive や Google Form 等のテクノロジーを駆使し、徹底した効率化で事務作業にかかる時間の短縮を図る。

◇3、メッセージ・無料通話アプリ「LINE」の活用

日本国内で8400万人ものアクティブユーザーを持つ国民的サービスを利用することで、執行部内のコミュニケーションツール導入のコストを削減しつつもシームレスな環境を構築する。

◇4、WordPress アカウントの開設

生徒会が運営するHPを作成することで、効果的な対外方面広報活動を実施する。

● Phase 1 達成状況

◇1、MacBook Pro の導入

2020年9月中に配備済み

◇2、Google Workspace For Education の活用

生徒会執行部全員の環境整備終了

◇3、「LINE」の活用

生徒会執行部全員のLINE利用確認終了

◇4、WordPress アカウントの開設

執行部用アカウント準備完了

○ Phase 1 はコンプリート